

夏期日本語日本事情プログラム 鎌倉ツアーに67人 キャンパスアシスタントも参加



6月28日、夏季日本語日本事情プログラムの鎌倉ツアーが行われ、短期留学生とキャンパスアシスタントの本学学生あわせて67人が参加した。江ノ島、長谷寺、鎌倉大仏(高德院)＝写真、鶴岡八幡宮、由比ガ浜などを見学、初夏の鎌倉路を楽しんだ。

相撲部員との取り組みも 研修中の豪ウーロンゴン大学生が専大生と交流



7月5日、豪ウーロンゴン大学の学生が生田キャンパスを訪れ、国際交流会メンバーと施設見学を行い、ディスカッションをして交流した。相撲道場では練習中の相撲部との「取組」＝写真＝もあって歓声が上がった。

一行は同大人文学部日本語学科の2・3年次生ら11人で、語学研修の一環としてウーロンゴン市の姉妹都市・川崎市を訪問中。

〔7月15日/ニュース専修14面〕

県人会 北から南から 秋田県人会



▲昨年5月、富士急ハイランドで。後列、右から3人目が斎藤会長。

「アットホームで、自由な雰囲気の会です。特にボックスでの触れ合いを大切にしています」と斎藤孝一郎会長(文3・群馬県前橋東高)が話すように、秋田県人会のボックスはいつも笑いが絶えない。後期から新会長を務める白坂亮介くん(文2・神奈川県湘南台高)も「活動のモットーはみんなで楽しむこと。僕もそんな雰囲気が好きで入会しました」と話す。

会員は約40人。1年次生が22人と多く、自県出身者が4割以上を占める。「会員は個

性的な人ばかりで、面白い人、おしゃれな人、秋田美人もいます(笑)」と斎藤会長。

スポーツ好きな会員が多く、昼休みや放課後にサッカーやバレーボールを楽しんでいる。6月27日には静岡、埼玉、群馬、宮城の4県人会とサッカー大会を開催。年末に行われる連合県人会主催のサッカー大会「天下統一」では一昨年優勝、昨年もベスト4と好成績を収めている。「もちろん、今年は優勝を目指します」と斎藤会長は意気込む。他の連県主催行事やブロック行事、鳳祭などにも積極的に参加。武藤寛規くん(経営3・秋田県秋田中央高)は「活動を通じて多くの人と出会い、たくさんの友人が出来ました」と、県人会活動の魅力を話してくれた。

年2回の合宿も盛り上がる。夏期地方活動では、日本の各地方の自然と歴史を学ぼうと、昨年は群馬県尾瀬を訪れ、今年は沖縄訪問を予定。今年の冬合宿では新潟県の上越国際スキー場で雪を満喫した。その他にも、富士急ハイランドへの日帰り旅行など、親睦を目的とした企画も多い。

斎藤会長は「まだ秋田県に行ったことのない会員もいるので、在学中にぜひ一度は訪れてみたい」と語った。

[7月15日/ニュース専修14面]

英語の学習 10人10語 第2話「常時英心」田邊 祐司(文学部教授)

前回は各種検定試験がテーマでしたが、第2話は語彙力増強に絞り「常時英心」というお話を一席。これは海外に行かず英語をマスターされた恩師の受け売りです。

皆さんは単語、熟語などをどう学んでいますか？教科書や単語帳による学習も確かに一つの手段です。しかし、実際のコミュニケーションでは、実にさまざまな言葉が私達の周りを飛び交います。

そんな言葉達を押さえていますか。「徹夜明け」「抜き打ち試験」を英語ではどう言いますか？「単位登録」「補講」は？「アザラシ」「拉致被害者」は？逆にdoctor a reportは？SARSは何の略？

恩師は、語彙増強のためには授業というformalな場と同時に日常のinformalな場面をも見逃さない積極的な英語学習の姿勢を常時英心と名づけました。言葉への「知的好奇心」こそが語彙学習の根幹だということです。

常時英心のツールはメモ帳、カード類。疑問は何でもかんでも記します。私も今日に至るまでこのnotebook habitが抜けません。

もちろん記すだけで安心してはダメ。疑問はそのつど解消します。そのためには携帯電話とともに辞書もお供に！仕入れたものを実際に使用する機会を作る(「リハーサル」と呼びます)のも常時英心。スポーツでは基本を学ぶと、練習、対外、公式などの「試合」を通して学んだものを高めますね。語彙学習も同じです。

「試合」が少ない？洋書や英字新聞など、やはり読むことは大切な試合です。メモの表現をつぶやく、友達とチェックを入れあう、英文メールやネイティブの先生との会話、検定試験など。すべてが試合なのです。

常時英心を心掛けた語彙学習はあなただけの「世界に一つだけの辞書」としてやがて実を結び、花を咲かせることでしょう。

[7月15日/ニュース専修14面]